

# マグネットドアストッパー(N10) 施工説明書 兼 取扱説明書

## 施工される方へのお願い

- この説明書は施工上重要な項目が記載されております。施工の際にはよく読み手順通りに正しく施工してください。また、取扱説明書も兼ねておりますので使用後は必ずお施主様にお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。



警告

取付けおよび取扱いを誤った場合に、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。



注意

取付けおよび取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。



取扱いを誤った場合に、製品の破損などの発生が想定されます。取付け手順の本文中に記載していますので必ずお読みください。



警告

- 下記のような医用電子機器を使用されている方は、操作を行わないでください。各医用電子機器に誤作動をまねくおそれがあります。  
(1)ペースメーカー等の体内埋込型機器 (2)人工心肺等の生命維持用機器 (3)装着型の心電計等



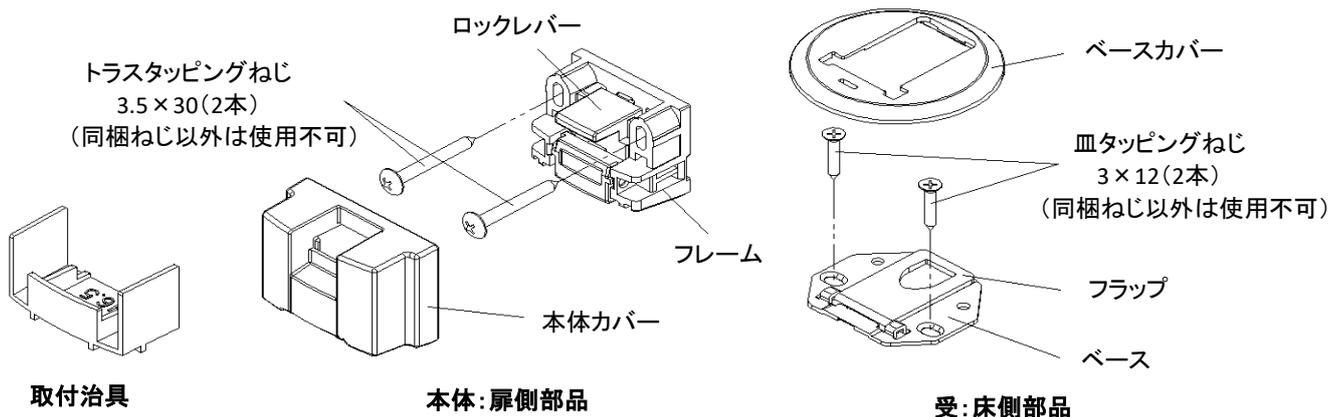
注意

- フラップが立ち上がったままになっている場合は、必ず手で倒してください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 扉を開放しておくときは、必ずロックレバーを下げて扉を固定してください。扉が強風で強く閉まり思わぬケガをするおそれがあります。
- 扉が勢いよく開くと、扉がフラップにぶつかり、はね返り、思わぬケガをするおそれがあります。
- 本体や受でお子様がお遊ばないようにご注意ください。思わぬケガをするおそれがあります。

## 施工上・取扱い上のおお願い

- 製品の個体差により操作力、作動音などがばらつくことがあります。
- 本製品は、木質床材専用です。じゅうたん・クッションフロア等の軟質床材へは取付けできません。
- 本製品取付け前に扉の建て付け調整を必ず行ってください。
- 扉と床の隙間が4~15mmとなるよう扉高さを調整してください。扉と床の隙間が15mmを越えるとストッパーが作動せず扉が壁などに衝突するおそれがあります。
- フレーム、ベースは取付治具で取付けてください。取付け状態により操作力がばらつくことがあります。
- 床暖房システムを使用している部分では使用しないでください。
- 本製品のねじ締付け時には手動ドライバーもしくはクラッチ付のドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎるとねじの空回り、ねじ頭部の破損、つぶれの原因となります。
- ストッパーが作動せず、扉が壁などに衝突するおそれがありますので、同梱ねじ以外使用しないでください。
- ロックが掛かった状態で扉本体にもたれかかったり、引張ったりしないでください。ストッパーが破損するおそれがあります。
- 磁気商品(テープ、カード、時計、精密機器等)を本体に近づけないでください。使用できなくなるおそれがあります。
- フラップに磁気を帯びさせないでください。作動不良の原因になります。
- 表面が汚れた場合は、柔らかい布で軽く拭いてください。
- 落ちにくい汚れが表面に付着した場合は、柔らかい布に中性洗剤を含ませて拭き取り、水を含ませた柔らかい布で中性洗剤を完全に拭き取ってから乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 中性洗剤以外の洗剤、シンナーなどの溶剤、アルコール、ワックスなど付着した場合は、変色、破損、動作不良の原因になります。
- 受にホコリ・砂がかかった場合は、掃除機などで取り除いてください。作動不良の原因になります。
- 本体にお湯をこぼしたり、暖房機器による熱風等を与えたりしないでください。故障の原因になります。

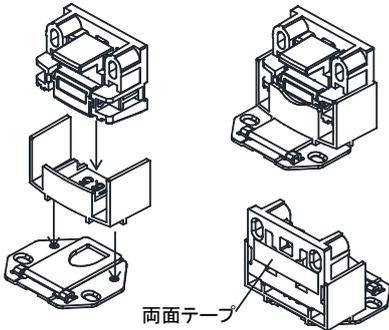
## 部品構成



**取付け手順** ※必ず扉の建て付け調整後に取付けてください。

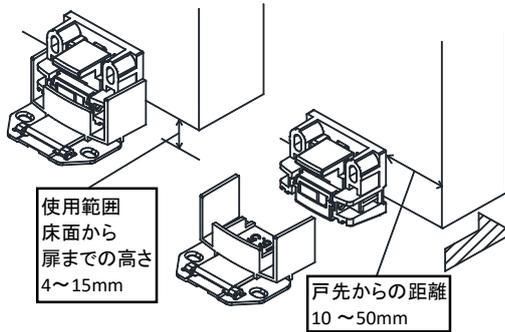
**1 本体・取付治具・受を組み合わせる**

- ① ベースの穴2箇所を取付治具をはめ込んでください。
- ② フレームを取付治具にはめ込んでください。
- ③ フレーム裏面の両面テープの剥離紙を剥がしてください。



**2 組み合わせた部品を取付け位置にセットする**

- ① 取付け位置にセットし、フレームを扉に貼付けてください。
- ② 取付治具、ベースを動かさないように手で固定し扉を移動させてください。

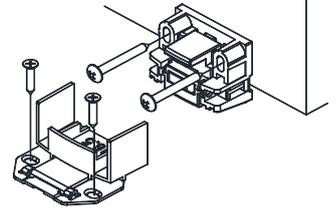


**3 本体と受を固定する**

- ① フレーム・ベース取付け位置に下穴をあけ、付属のねじで固定してください。

⚠ ねじは強く締めすぎると部品が破損するおそれがあります。

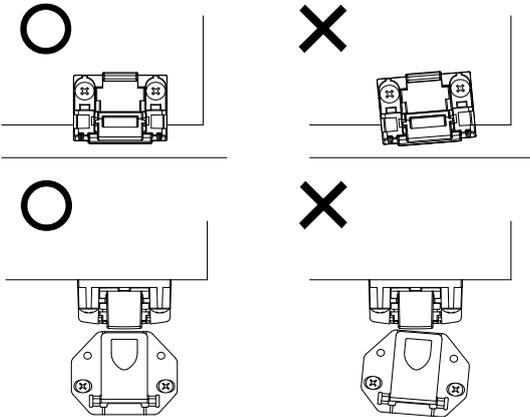
- ② ベース固定後取付治具を取り外してください。



※取付治具は部品の交換時などに使用する可能性がありますので廃棄せずに保管してください。

**4 取付け状態および作動の確認をする**

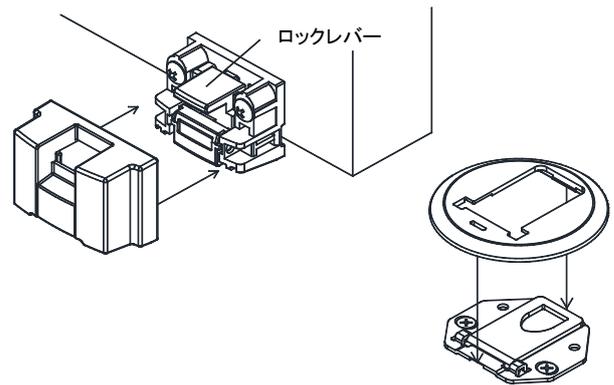
- ① 取付け状態が正しく取付けられていることを確認してください。



- ② ロックレバーが上がっている状態でフレームがベースの真上にくるように扉を開き、正常に作動するか確認してください。
- ③ ロックレバーを下げてロックができることを確認してください。

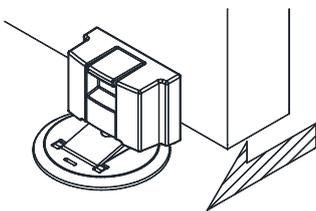
**5 本体カバーとベースカバーをはめ込む**

- ① 必ず[4]の確認後、本体カバーを取付けてください。
- ② ロックレバーを下げた状態でフレームにカチッと音がするまで本体カバーをはめ込んでください。
- ③ ベースにカチッと音がするまでベースカバーをはめ込んでください。



**取扱い方法**

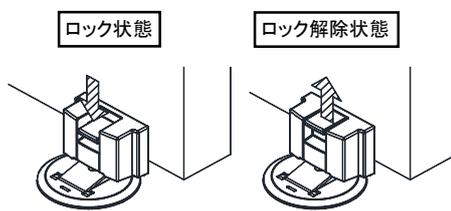
- 扉本体が受に近づくときフラップが立ち上がります。



※ロックレバーを下げたまま扉を開閉しないでください。

⚠ 扉の開く速度が速すぎると作動しなかったり、部品が破損するおそれがあります。

- ロックレバーを下げてロック状態になると扉が開いた状態を維持します。



※ロックの際は、フラップが本体の奥まで完全に入っていることを確認してください。

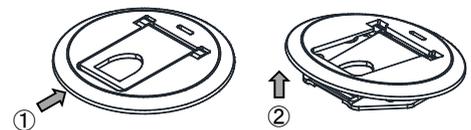
※ロック解除の際は、ロックレバーをカチッと音になるまで完全に持ち上げてください。

※ロックレバーを下げたまま扉を開閉しないでください。

**ベースカバーの外し方**

- ベースカバーを外す必要が生じた場合は下記のようにしてください。

- ① ベースカバーと床の隙間に工具などを差し込みます。
- ② ベースカバーを上方向に持ち上げてください。



⚠ 工具などで床を傷付けないよう注意してください。

・矢印以外の箇所から外すと部品が破損するおそれがあります。